

平成31年度 全国学力・学習状況調査の結果概要について (令和元年度)

吉野川市教育委員会

文部科学省が実施している「全国学力・学習状況調査」における吉野川市の結果の概要についてお知らせします。なお、本調査により測定できるのは、特定教科の学力の一部分や教育活動の一側面です。

1 はじめに

「全国学力・学習状況調査」は子どもの学力を把握し、学校での教育活動を充実させ、子どもの学習状況の改善に役立てることを目的に毎年4月に実施されています。

吉野川市教育委員会におきましては、調査結果の概要の公表をとおして、学力や生活の特徴的な傾向を共有し、教育課題を改善するために、学校・家庭・地域が連携して、子どもたちのさらなる学力向上をめざしていきたいと考えていますので、ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。なお、調査結果の概要ということで、学力や生活の特徴的な傾向が表れている内容について、現状や改善の方向性を示す形でまとめています。

2 調査の概要

(1) 調査目的

- ① 全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ② 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ③ ①②のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査対象

- ・小学校第6学年の全児童
- ・中学校第3学年の全生徒

(3) 調査内容

- ① 教科に関する調査（国語、算数・数学、英語）
 - ・今年度は、「主として『知識』に関する問題」と「主として『活用』に関する問題」を一体的に出題。
 - ・英語については、中学生のみ調査。
- ② 質問紙調査
 - ・児童生徒に対する調査（学習意欲、学習方法、学習環境、生活に関する調査内容）
 - ・学校に対する調査（指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備などに関する調査内容）

(4) 調査日時

- ・平成31年4月18日（木）

3 全国学力・学習状況調査の分析結果

(1) 教科に関する調査結果

小 学 校 (吉野川市)

教 科	結 果
国 語	全体の正答率は全国正答率をやや下回っています。 全国正答率と比較して「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」はほぼ同程度ですが、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」は下回っています。
算 数	全体の正答率は全国正答率を下回っています。 全国正答率と比較して「量と測定」「図形」はやや下回っており、「数と計算」「数量関係」は下回っています。

中 学 校 (吉野川市)

教 科	結 果
国 語	全体の正答率は全国正答率とほぼ同程度です。 全国正答率と比較して「書くこと」はやや上回っていますが、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」はやや下回っています。「話すこと・聞くこと」「読むこと」はほぼ同程度です。
数 学	全体の正答率は全国正答率をやや下回っています。 全国正答率と比較して「関数」は上回っています。しかし、「数と式」はやや下回っており、「図形」「資料の活用」は下回っています。
英 語	全体の正答率は全国正答率を上回っています。 全国正答率と比較して「読むこと」「書くこと」は上回っており、「聞くこと」はほぼ同程度です。 ※「話すこと」については、参考扱いとなり、全国正答率が公表されておりません。

※ 吉野川市教育委員会では、右下の表のように、全国正答率と比較した正答率を表記しております。

上回る	+2.0%以上
やや上回る	+1.0%～+1.9%
ほぼ同程度	-0.9%～+0.9%
やや下回る	-1.0%～-1.9%
下回る	-2.0%以下

(2) 設問別の主な集計結果

◇ 小学校国語 ◇

《身についていること》

- ① 目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫すること。
- ② インタビューにおいて、話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をすること。

《身につけさせたいこと》

- ① 目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くこと。
- ② 目的に応じて文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだり、必要な情報を取捨選択し、整理や再構築をして理解したことをまとめたりすること。

◇ 小学校算数 ◇

《身についていること》

- ① 台形について理解すること。
- ② 棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ること。
- ③ 示された計算の仕方を解釈し、適用したり、計算しやすい式にして計算したりすること。

《身につけさせたいこと》

- ① 示された計算の仕方や図形の面積の求め方を解釈し、成り立つ性質やその求め方の説明を記述すること。
- ② 示された除法の意味を理解したり、加法と乗法の混合した整数と小数の計算をしたりすること。
- ③ 異種の二つの量の割合として捉えられる数量について、その比べ方や表し方を理解し、単位量当たりの大きさについて判断すること。

◇ 中学校国語 ◇

《 身につけていること 》

- ① 文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをもつこと。
- ② 書いた文章を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討したり、伝えたい事柄について、根拠を明らかにして書いたりすること。

《 身につけさせたいこと 》

- ① 手紙の基本的な形式を理解し、文字の大きさや配列に注意して書くこと。
- ② 話合いの話題や方向を捉えて的確に話したり、相手の発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめること。

◇ 中学校数学 ◇

《 身につけていること 》

- ① 証明の根拠として用いられている三角形の合同条件や反例の意味を理解すること。
- ② 数の集合や正の数・負の数について理解し、その四則計算をすること。
- ③ 反比例の表から、 x と y の関係を式で表すこと。

《 身につけさせたいこと 》

- ① ヒストグラムや代表値を用いて資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること。
- ② 具体的な事象の中から二つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して、関数関係を見だし表現し考察すること。
- ③ 図形の性質を三角形の合同条件などを基にして確かめ、論理的に思考し表現すること。

◇ 中学校英語 ◇

《 身につけていること 》

- ① 日常的な話題について、簡単な文で書かれたものの内容を、正確に読み取ること。
- ② 自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて、情報を正確に聞き取ること。
- ③ 文の中で適切に接続詞を用いて書くこと。

《 身につけさせたいこと 》

- ① 質問や依頼などを聞いて把握した内容について、適切に応じること。
- ② 与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くこと。
- ③ 書かれた内容に対して、自分の考えを示すことができるよう、話の内容や書き手の意見などを捉えること。

(3) 質問用紙による調査結果

① 小学校

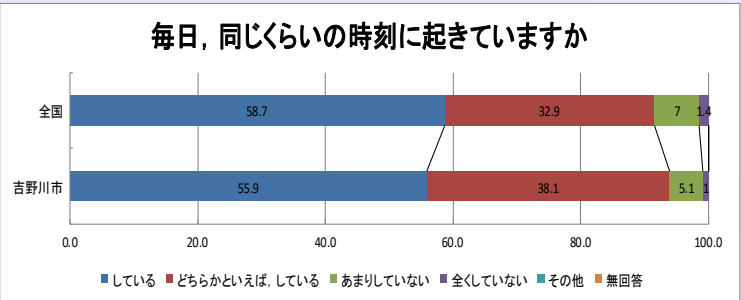
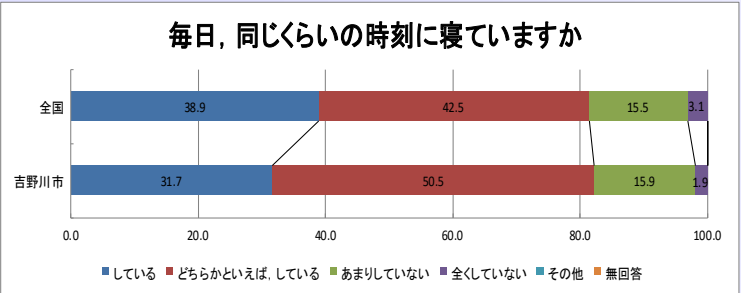
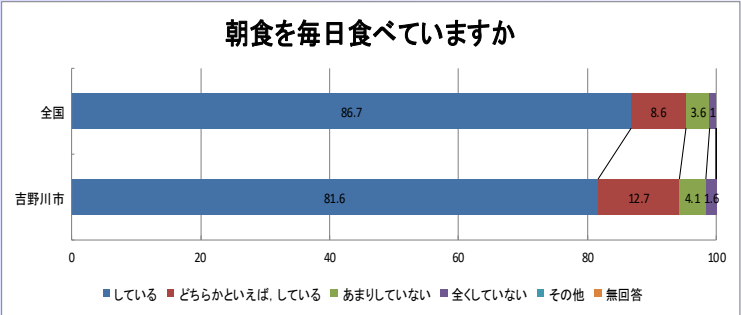
《基本的な生活習慣等》

小学校

- 朝食を毎日食べていますか
- 毎日、同じぐらいの時刻に寝て（起きて）いますか

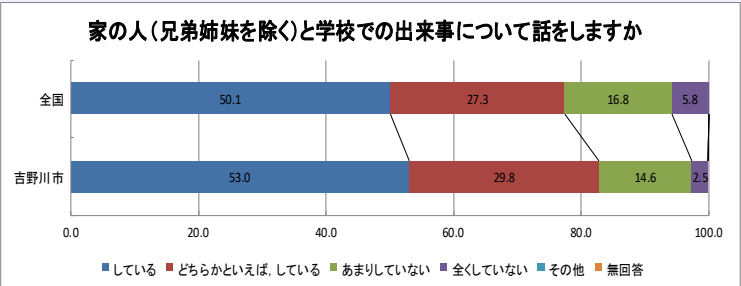
全国平均と比較すると、「朝食を毎日食べている」と回答した児童の割合がほぼ同程度で、「毎日、同じぐらいの時刻に寝て（起きて）いる」と回答した児童の割合がやや上回っていました。しかし、どの項目も「している」と回答した児童の割合は、全国平均を下回っており、寝る（起きる）時刻が一定せず、朝食を食べることができないことも考えられます。

寝る時刻、起きる時刻を一定にして生活リズムを整え、朝食で脳にエネルギーを与えることは、毎日元気に生活や学習をするためにも重要な役割を果たします。生活のリズムについて自分で意識し、改善できるように心がけていきましょう。ご家庭でもご協力をお願いします。



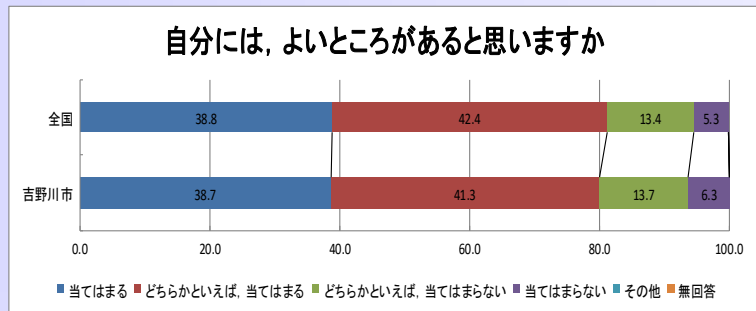
- 家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか

全国平均と比較すると、「家の人と学校での出来事について話す」と回答した児童の割合が上回っていました。学校と家庭がともに子どもたちをより良く育てていくためにも、より一層ご家庭でのコミュニケーションを図るようお願いします。



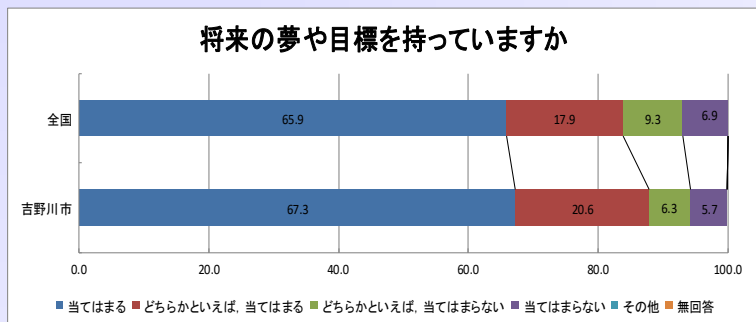
○ 自分には、よいところがあると思いますか

全国平均と比較すると、「自分には、よいところがあると思う」と回答した児童の割合がほぼ同程度でした。自己肯定感の高い子どもはのびのびとした気持ちで生活や学習ができ、全国学力・学習状況調査でも教科の平均正答率が高いという結果が出ています。生活や学習の場面で互いのよいところを見つけ、認め合っていきましょう。



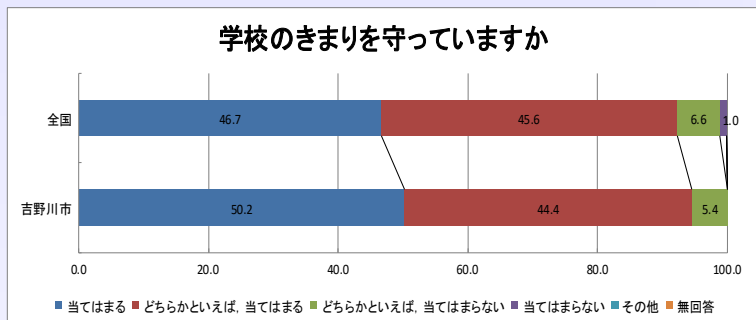
○ 将来の夢や目標を持っていますか

全国平均と比較すると、「将来の夢や目標を持っている」と回答した児童の割合が上回っていました。自分の将来の夢や目標をかなえるために、今できることは何か考え、一つずつ実行していきましょう。



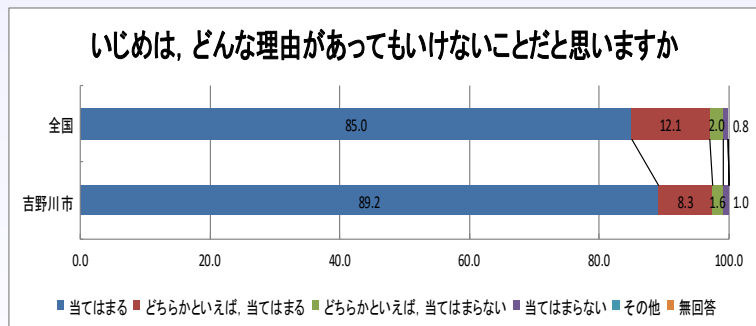
○ 学校のきまりを守っていますか

全国平均と比較すると、「学校のきまりを守っている」と回答した児童の割合が上回っていました。学校で安全・安心に過ごすために、ルールの意味を理解して、これからも学校のきまりを守っていきましょう。



○ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか

「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」と回答した児童の割合が約98%で、いじめを許さないという雰囲気为学校の中で大切にされていることが分かります。これからの、一人一人の人権を守っていきましょう。

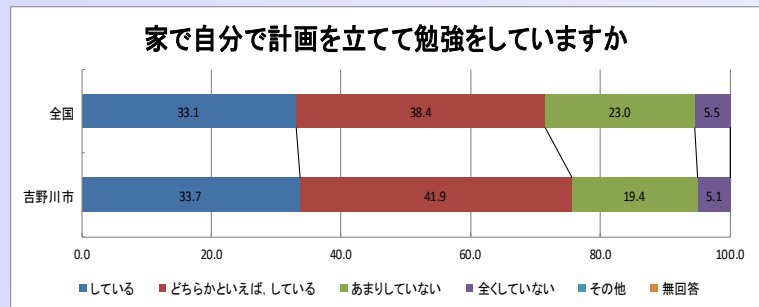


《学習習慣等》

小学校

○ 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか

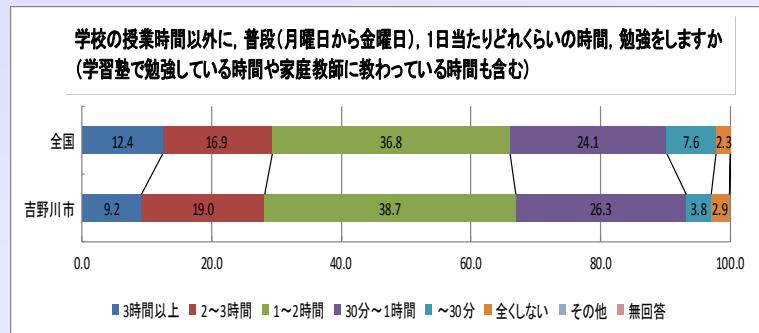
全国平均と比較すると、「家で自分で計画を立てて勉強している」と回答した児童の割合が上回っています。計画を立てて学習することは、見通しを立てたり、分かっていないことをときどき確認したりして、自分に合った学び方を考えることにつながります。「家庭学習の手引き」



等を参考にして自主学習を行うなど、計画的に学習に取り組みましょう。

○ 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）

約67%の児童が授業以外に1日当たり1時間以上勉強をしています。毎日1時間以上学習ができているのは、いい傾向です。毎日一定の時間家庭学習ができるように心がけ、少しずつ長くできるよう努力していきましょう。

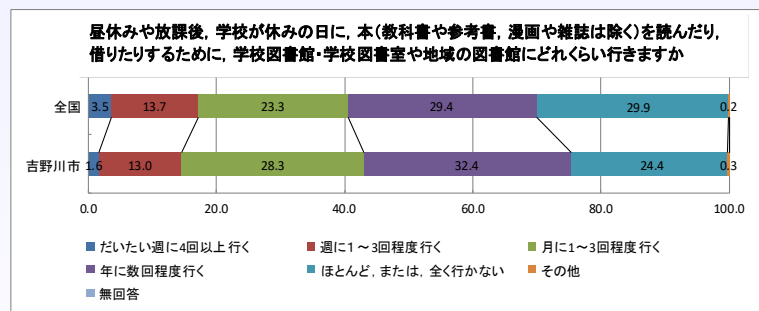
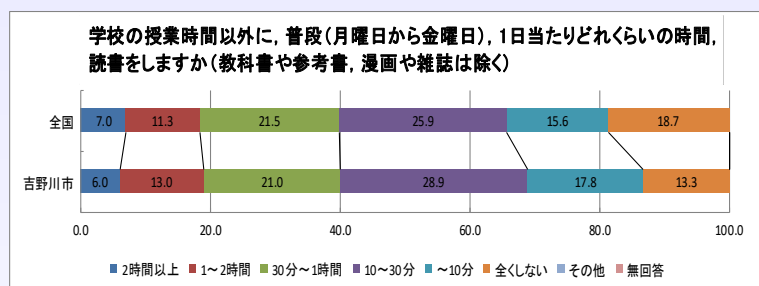


○ 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）

○ 昼休みや放課後、学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか

1日当たりの読書時間が30分以上の児童の割合が約40%で、全国平均と比較すると同程度であり、ある程度読書ができているようです。しかし、学校図書館・学校図書室や地域の図書館を週1回以上利用する児童の割合が約15%で低いです。

自分の時間を上手に使ったり、学校図書館・学校図書室や地域の図書館をしっかりと活用したりして、読書習慣を身に付けましょう。



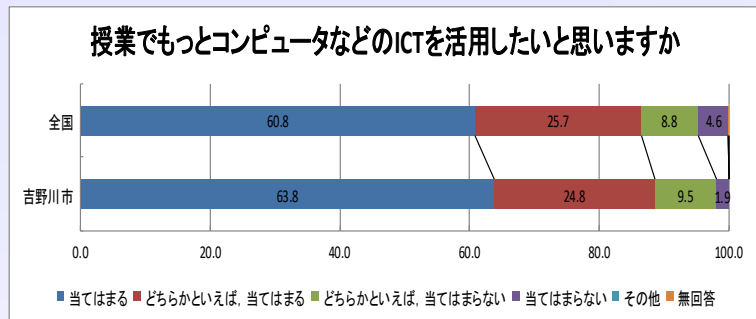
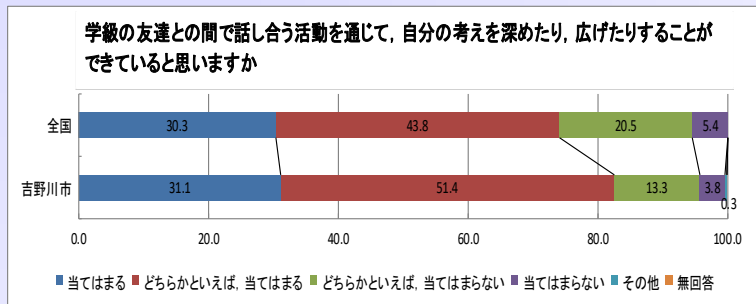
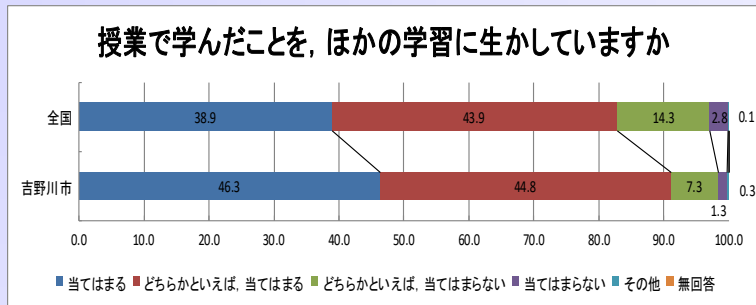
《主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況等》

- 授業で学んだことを、ほかの学習に生かしていますか
- 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができると思っていますか
- 授業でもっとコンピュータなどのICTを活用したいと思っていますか

「授業で学んだことを、ほかの学習に生かしている」と回答した児童の割合が約91%、「自分の考えを深めたり、広げたりしている」と回答した児童の割合が約82%であり、全国平均と比較すると、大きく上回っています。授業で学んだことと日常生活をうまく関連付けながら、主体的・対話的で深い学びにつながっていることが見受けられます。

また、全国平均と比較すると、「授業でもっとICTを活用したい」と回答した児童の割合が上回っており、ICT活用についても意欲的に取り組もうとしていることが分かります。

これからも、ICTをうまく活用しながら、自分の考えを深めたり、伝え合ったりして、課題解決に向けて努力していきましょう。



《地域や社会に関わる活動の状況等》

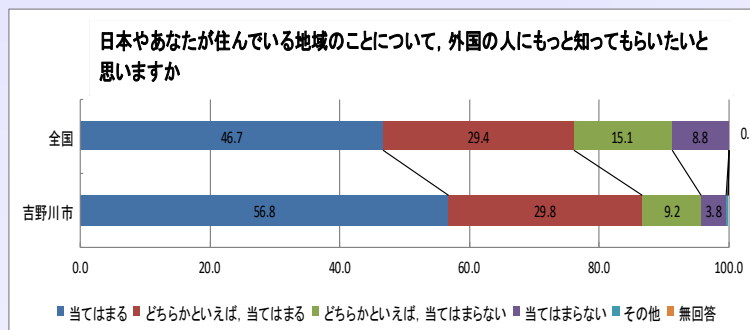
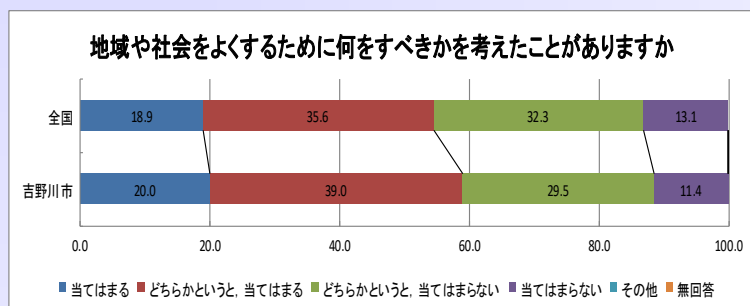
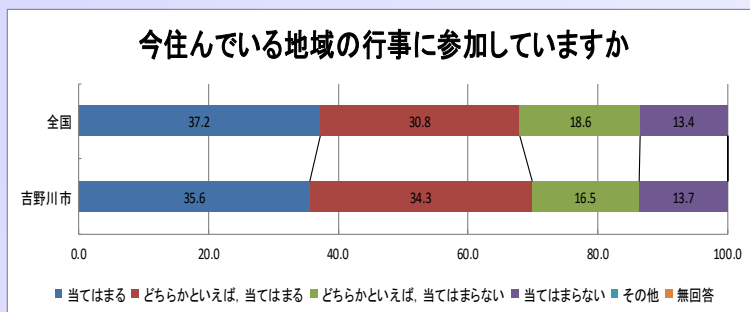
小学校

- 今住んでいる地域の行事に参加していますか
- 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか
- 日本やあなたの住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか

「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した児童の割合は約70%で、昨年度に比べると約15%増えていました。「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えたことがある」と回答した児童の割合は約59%で、地域とのつながりを大切にする児童が増えていることが見受けられます。

また、全国平均と比較すると、「日本や住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたい」と回答した児童の割合が上回っていました。

地域の行事やボランティア活動へ参加することにより、家庭や学校生活だけでは味わうことのできない活動や、多様な人との関わりを体験することができます。また、それらの体験を通して、地域の姿や社会貢献について学ぶこともできます。これからも、地域や社会とのつながりを深め、外国の人にもそのよさを発信していきましょう。



② 中学校

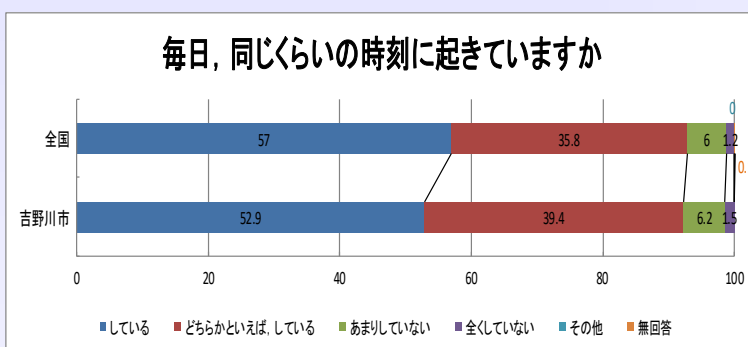
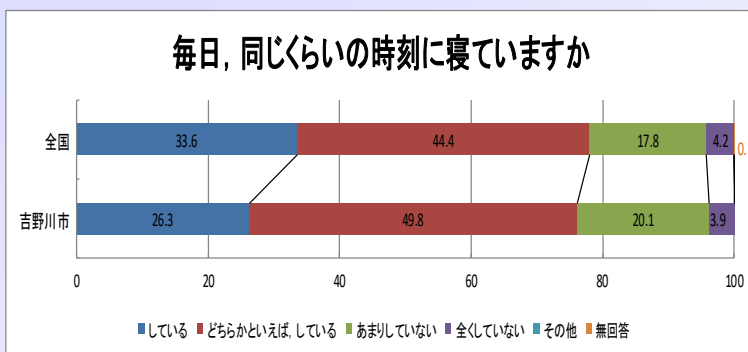
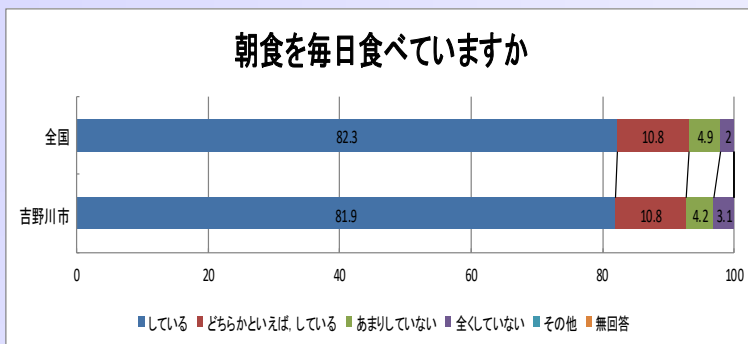
《基本的生活習慣等》

中学校

- 朝食を毎日食べていますか
- 毎日、同じくらいの時刻に寝て（起きて）いますか

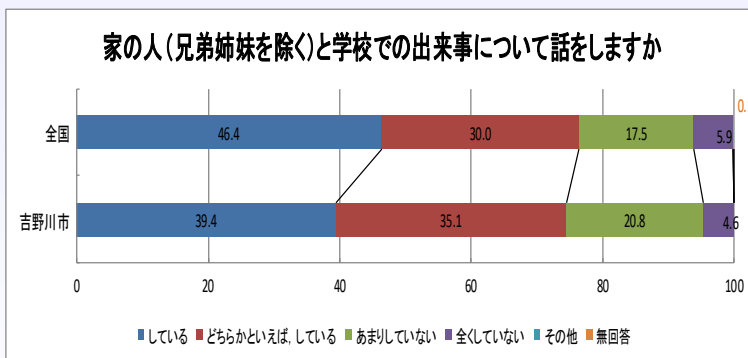
全国平均と比較すると、「朝食を毎日食べている」と回答した生徒の割合はほぼ同程度で、「毎日同じくらいの時刻に寝て（起きて）」と回答した生徒の割合がやや下回っていました。寝る時刻については「あまりしていない」「全くしていない」と回答する生徒の割合が約24%で、昨年度に比べて約9%減っていますが、生活のリズムづくりに不安定な要素になっていることが分かります。

本人が中学生としての自覚を持ち、自分の時間や健康を管理しようとするのが大切です。すべきこととしたいことのバランスを考えて計画的に時間を使い、睡眠時間を確保するなどして、生活のリズムを整えていきましょう。また、家庭でも意識づけを行い、「早寝・早起き・朝ごはん」が習慣化するようにご協力をお願いします。



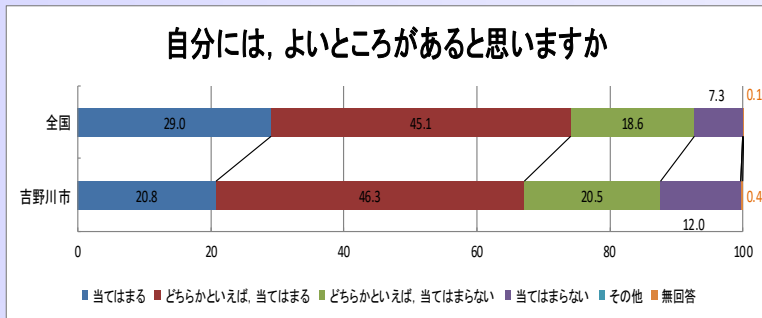
- 家の人（兄弟姉妹は除く）と学校での出来事について話をしますか

「家の人と学校での出来事について話をする」と回答した生徒の割合は、約74%で、全国平均と比較すると、下回っていました。学校での出来事を話すことで、思いや悩みが共有され、ストレスの解消や心の安定につながります。家庭で話す機会を持てるよう、心がけていきましょう。



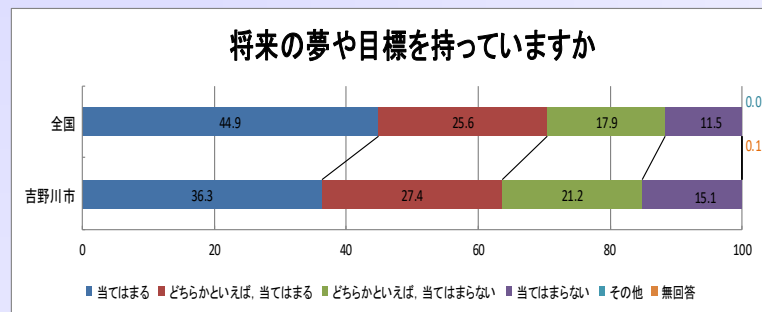
○ 自分には，よいところがあると思いますか

「自分には，よいところがあると思う」と回答した生徒の割合が約67%で，全国平均と比較すると，下回っていました。また，昨年度に比べると約12%減っています。生活や学習の様々な場面で自分のよいところを自覚することや，周りの友達や大人がよいところを伝えていくことで，自己肯定感を高めていきましょう。



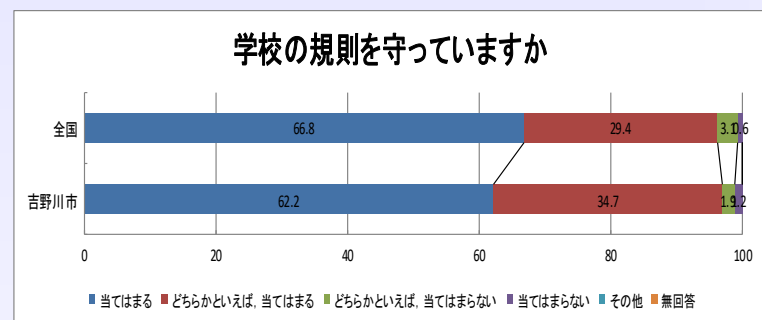
○ 将来の夢や目標を持っていますか

「将来の夢や目標を持っている」と回答した生徒の割合が約64%で，全国平均と比較すると，下回っていました。また，昨年度に比べると約13%減っています。将来の夢や目標を持てるような体験等が大切であると考えられます。自分の夢や目標を具体的にイメージすることで，今つけておきたい力や，努力すべきことがはっきりしてきます。毎日の生活にも具体的な目標を持って取り組んでいきましょう。



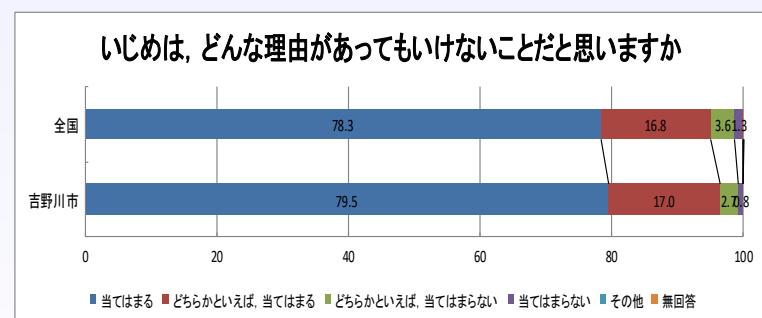
○ 学校の規則を守っていますか

約97%の生徒が「規則を守っている」と回答しました。大変よい傾向です。規則を守ることの大切さとともに，規則の必要性や意味についても考え，お互いが気持ちよく生活し，学習できる環境を大切にしましょう。



○ いじめは，どんな理由があってもいけないことだと思いますか

約97%の生徒が「いじめは，どんな理由があってもいけないことだと思う」と回答しました。これからはいじめを許さない気持ちを強く持ち，安心して生活や学習のできる学級や学校にしましょう。

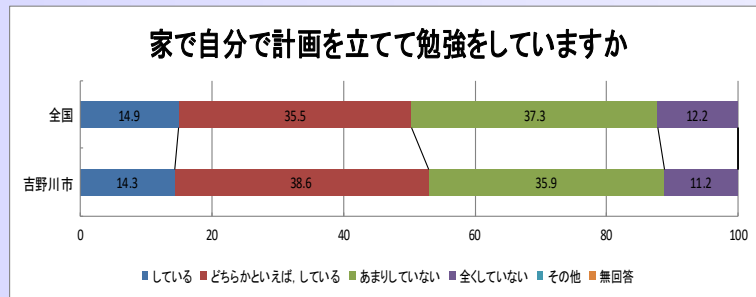


《学習習慣等》

中学校

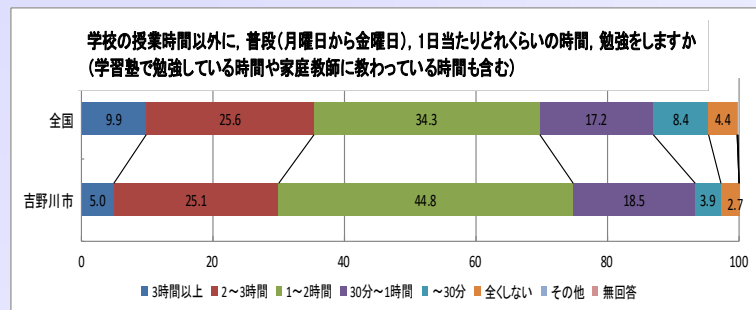
○ 家で自分で計画を立てて勉強していますか

全国平均と比較すると、「家で自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した生徒の割合が上回っていました。家庭学習の進め方を考えることは、自分の理解度や学び方について考えることにもつながります。まずはテスト前の学習等から始めましょう。



○ 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）

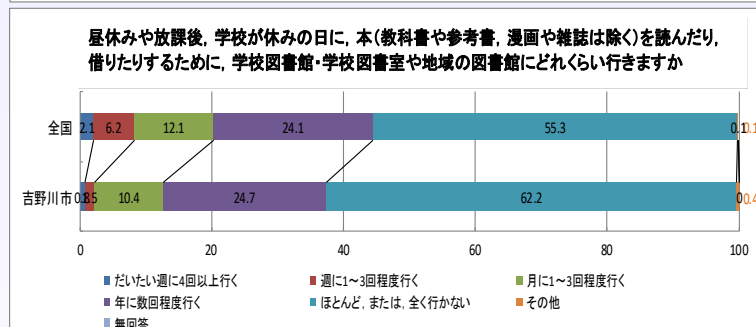
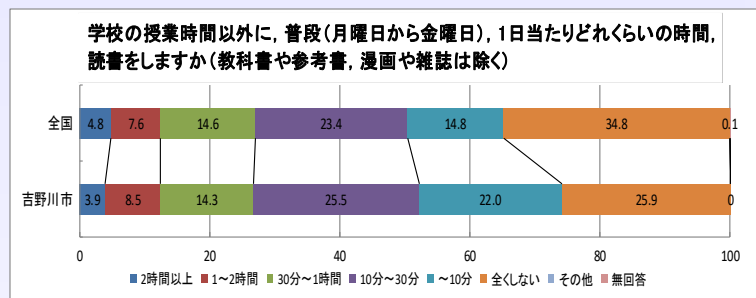
授業以外に1日当たり2時間以上勉強をしている生徒の割合が約30%で、全国平均と比較すると、下回っていました。毎日一定時間の家庭学習を継続することはとても大切です。授業の予習・復習をきちんとしたり、問題集を解いたりして、中学3年生としては、少なくとも2時間以上家庭学習に取り組みましょう。



- 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）
- 昼休みや放課後、学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか

1日当たりの読書時間が30分以上の生徒の割合が約27%で、全国平均と比較するとほぼ同程度ですが、10分以下の生徒の割合が約48%を占めており、十分な読書習慣が身に付いているとは言いきれません。また、学校図書館・学校図書室や地域の図書館を週1回以上利用する生徒の割合が約2%で著しく低いです。

読書を通じて、言語力や読解力、想像力等の向上が期待されます。学校図書館・学校図書室や地域の図書館を活用する機会を意図的に増やし、適切な読書時間を設けることができるよう心がけましょう。

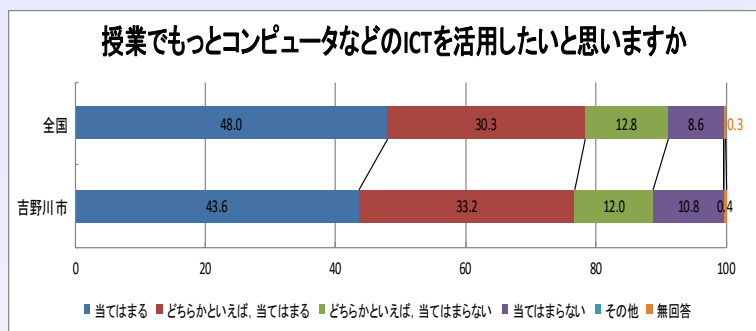
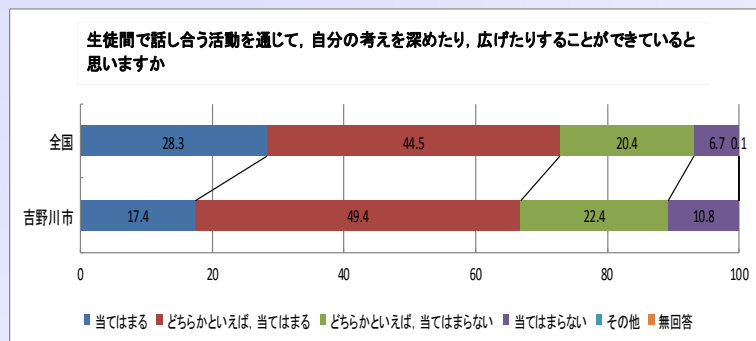
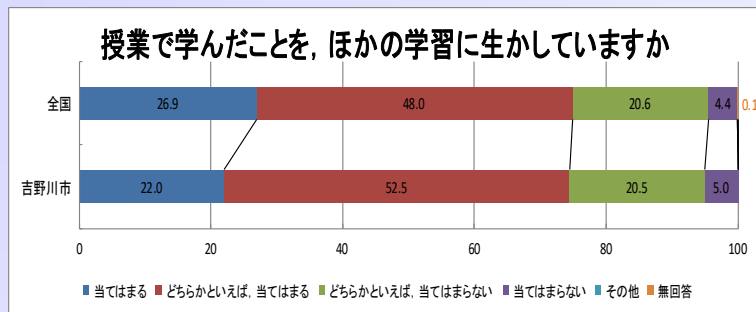


《主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況等》

- 授業で学んだことを、ほかの学習に生かしていますか
- 生徒間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりできていると
思っていますか
- 授業でもっとコンピュータなどのICTを活用したいと思いませんか

全国平均と比較すると、「授業で学んだことを、ほかの学習に生かしている」と回答する生徒の割合がほぼ同程度で、「自分の考えを深めたり、広げたりしている」「授業でもっとICTを活用したい」と回答する生徒の割合が、どちらも下回っていました。授業で学んだことと日常生活をうまく関連付けながら、主体的に学ぶ姿勢が大切であると考えられます。

自分で課題を立て、ICTをうまく活用しながら情報を収集・整理し、探求的な学習を進めていきましょう。また、自分の考えを深めたり、伝え合ったりして、課題解決に向けて努力していきましょう。



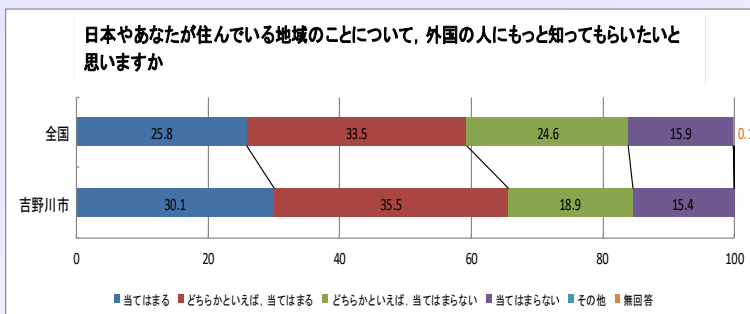
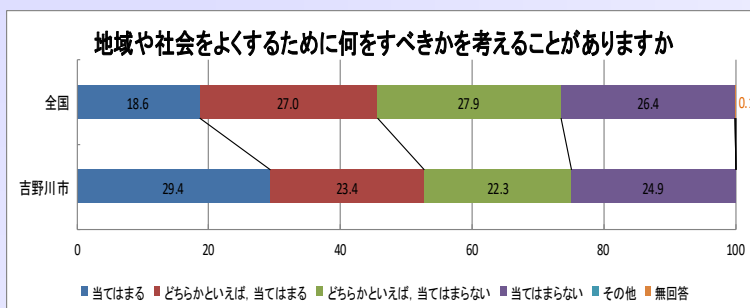
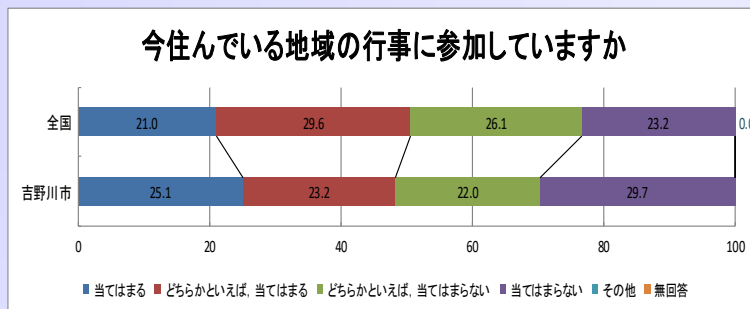
《地域や社会に関わる活動の状況等》

中学校

- 今住んでいる地域の行事に参加していますか
- 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか
- 日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか

全国平均と比較すると、「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」「日本や住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたい」と回答した生徒の割合は上回っていましたが、「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答する生徒の割合は下回っていました。

地域の行事やボランティア活動など自分が参加できることを探して参加することで、自分の住んでいる地域や社会の仕組み、社会貢献などについて知ることができます。また、様々な人とつながり、コミュニケーション能力も身に付きます。積極的に参加し、多様な人々との交流を図ることにより、地域や社会とのつながりを深めましょう。



(4) 吉野川市の学力向上への取組

- ① 「学力向上実行プラン」の目標や内容等を全職員で共通理解し、学力向上推進員を中心に、基本的な生活習慣の確立や授業改善等について、組織的な取組を推進しています。
- ② 毎時間授業のめあてとまとめを示し、1時間の授業のねらいを明確にするとともに、児童生徒にとって「分かりやすい」授業の実践に取り組んでいます。
- ③ 言語活動の充実を図るとともに、ICT環境を整え、「主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）」にも取り組んでいます。
- ④ 各校の実態に応じて、ドリル学習やミニテストなどを実施し、基礎的・基本的な学力の定着を図っています。
- ⑤ 「家庭学習の手引き」を作成し、児童生徒と保護者への啓発のために配布して、活用しています。
- ⑥ 子どもたちの学力をつけるため、講師を招いての校内研修や授業研究を行い、教師の指導力、授業力の向上に努めています。
- ⑦ 市教育委員会主催の研修を行い、教職員の資質向上と学校マネジメント力の向上に努めています。
- ⑧ 特別支援教育についての理解を一層深め、個に応じたきめ細かな指導や児童生徒の特性に合った指導方法の工夫等に取り組んでいます。
- ⑨ 地域と連携し、教育内容と教育活動に必要な人的・物的資源を効果的に活用しています。